

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	急傾斜事業		路線又は箇所名等		急傾斜地崩壊危険区域 天津2		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成29年度	用地着手年度	—		工事着手年度	平成29年度	再評価の理由	再評価	
費用便益比 B/C	3.47 (6.27)	総費用 (現在価値)	5.72億円 (1.84億円)	総便益 (現在価値)	19.83億円 (11.56億円)	基準年	令和4年	供用開始年度	令和8年度

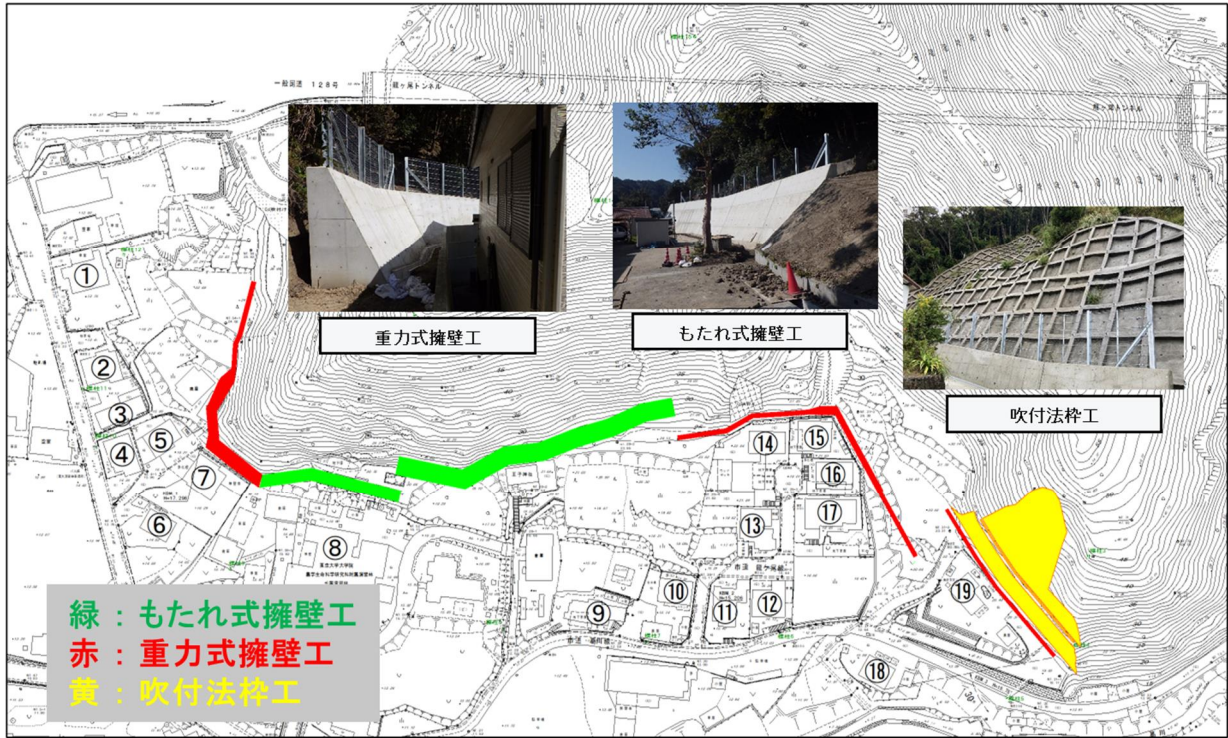
※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

<p>【事業概要】</p> <p>(目的)</p> <p>天津2は、指定面積3.3haの急傾斜地崩壊危険区域である。崩壊危険区域の斜面下には、鴨川市天津地区の市街地から続く宅地が広がる。また、斜面の近傍を鴨川市の幹線道路となる国道128号が通るが、これに連絡する県道市原天津小湊線が被害想定区域内を通る。</p> <p>天津2では、平成29年度から急傾斜地崩壊対策事業に着手し、急傾斜地の崩壊を防止するため擁壁工や法枠工を実施してきた。近年、激甚化・頻発化する豪雨により、急傾斜地崩壊の危険性が高まっていることから、事業を進める必要がある。</p> <p>(主な実施内容)</p> <p>天津2（急傾斜地崩壊対策）： 重力式擁壁工、吹付法枠工、もたれ式擁壁工</p>														
<p>【事業の進捗状況】(R4年度末見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画(億円)</th> <th>投資事業費(億円)</th> <th>残事業費(億円)</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>5.61</td> <td>3.56</td> <td>2.05</td> <td>63.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)	全体	5.61	3.56	2.05	63.0
	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)										
全体	5.61	3.56	2.05	63.0										
<p>【社会経済情勢等】</p> <p>① 地域状況</p> <p>天津2は、斜面高が50m以上かつ斜面勾配が40度前後の急傾斜地であり、一旦斜面崩壊が発生した場合、崩土が斜面下端まで容易に到達することが予測される。</p> <p>1976年（昭和51年）以降の鴨川アメダス降水量データを見ると、年降水量には大きな変化は認められないが、一度の短時間降雨規模は大きくなる傾向にあり、天津2においても急傾斜地崩壊の危険性が高まる懸念される。</p> <p>一方土地利用を見ると、天津2周辺は鴨川市天津地区の住宅地が広がり、天津2においても斜面下端の被害想定区域内で、現在19戸の保全人家が確認されている。これらの家屋の多くは平成期に入り建設されたものである。</p> <p>② 投資効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人家戸数 19戸(13戸) ・ 事業所 1(1)(教育、学習支援業(東京大学演習林施設))</li> <li>・ 県道 市原天津小湊線80m(34m) ・ 市道90m(38m) ・ 農道その他200m(85m)</li> </ul> <p>[裸書：全体事業、（ ）：残事業]</p>														
<p>【対応方針(案)】</p> <p>天津2の急傾斜地の斜面下には家屋などの資産が集中しているが、対象地域は鴨川市の地域拠点の1つである天津地区の中心市街地に隣接している。</p> <p>一方、事業費ベースで約6割程度事業が進捗しており、崩壊対策工事によって、早期に安全度の向上を図る必要がある(用地は無償貸借契約による)。</p> <p>加えて事業への地元からの要望が大きく、事業の進捗が望まれている。また全体事業の費用便益(B/C)は3.47と事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続することとする。</p>														

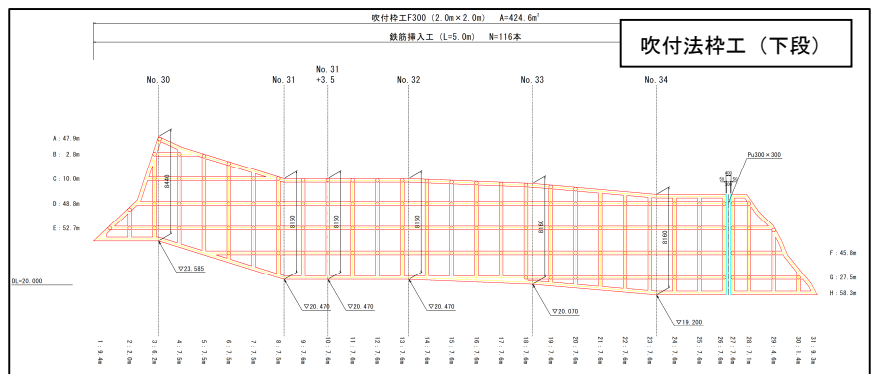
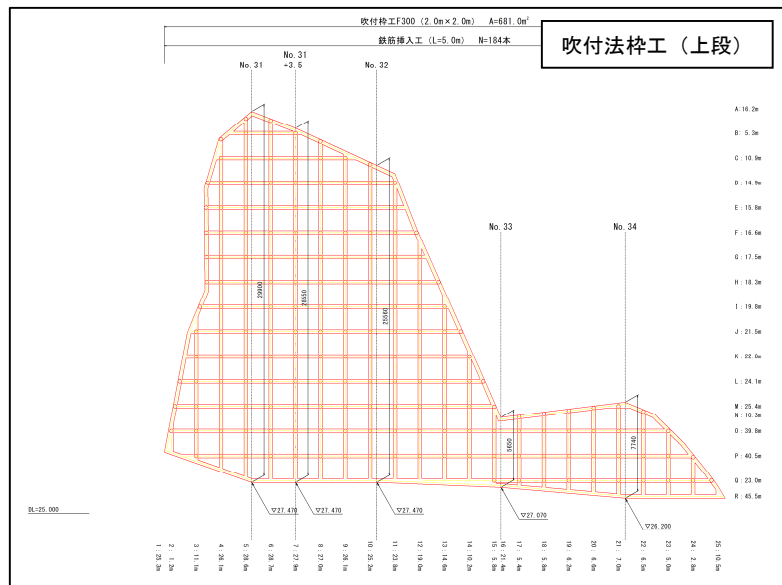
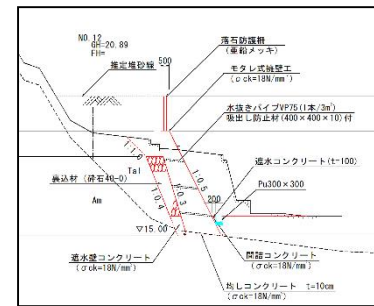
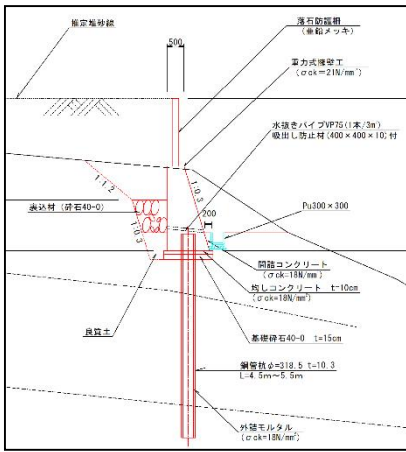
# 事業概要図

番号	3	事業名	急傾斜事業	路線又は箇所名等	急傾斜地崩壊危険区域 天津2
----	---	-----	-------	----------	-------------------

## 計画平面図



## 対策工構造図



## 再評価事業に関する調書

番号	3	事業名	急傾斜事業	路線又は箇所名等	急傾斜地崩壊危険区域 天津2	
事業化年度	平成29年度	用地着手年度	—	工事着手年度	平成29年度	
<b>【現在計画の概要】</b>						
当初評価実施年度 (基準年)	平成29年度	供用開始年度	令和4年度	対応方針	継続	
B/C	2.91	総費用	4.23億円	総便益	12.30億円	
現在計画の進捗状況及び再評価時想定 of 5年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (R4)		5年後の推定進捗状況		
事業費	4.2億円	3.56億円 (85%)		—		
うち用地・補償費	0億円	0億円 (—%)		—		
うち工事費	4.2億円	3.56億円 (85%)		—		
<b>【再評価 (R4年度) の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	令和4年度	供用開始年度	令和8年度	対応方針	継続	
B/C	3.47 [6.27]	総費用	5.72億円 [1.84億円]	総便益	19.83億円 [11.56億円]	
( ※上段：全体事業、下段：[ ]：残事業 )						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (R4 末見込み)				
事業費	5.61億円	3.56億円 (63%)				
うち用地・補償費	0億円	0億円 (—%)				
うち工事費等	5.61億円	3.56億円 (63%)				
再評価後の 経過 及び 処理状況	令和5年3月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再評価 (継続が妥当である)					